



ふきのとう

第30号

【発行】
 社会福祉法人
 秋田県社会福祉事業団

〒010-1412
 秋田市御所野下堤五丁目1番地の1
 TEL 018-889-8360 FAX 018-889-8361
 HP <http://www.fukinoto.or.jp>
 e-mail mail@fukinoto.or.jp




【目次】	
P 6	・ 地域における公益的な取組表彰
P 5	・ 平成29年度実践発表会
P 4	・ 新規採用職員紹介
P 3	・ 平成28年度決算・事業報告
P 2	・ 豪雨災害ボランティア活動報告 ・ 強度行動障害を示す利用者への取組み

★★FACEBOOK随時更新中★★

ホームページからも
閲覧できます。

詳細は、[コチラから](#)↓



お見舞い

秋田県内及び全国各地で発生した豪雨・台風等により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復興されま

すよう、お祈り申し上げます。

豪雨災害ボランティア活動報告

去る7月22～23日にかけて東北地方を中心に記録的な大雨が続き、秋田県内でも三〇〇ミリを超える豪雨による影響で、横手市・大仙市・秋田市等で河川の氾濫や土砂災害等により建物被害や床上浸水等の甚大な被害が発生しました。当法人では、こうした状況を踏まえ、過去に東日本大震災のボランティアを継続的に行ってきた経験を活かし、被災地支援を実施しました。

延べ9日間で52名の職員が、マンパワーを最大限に活かし、泥水に浸かってしまった家財等の運搬や床下に溜まった泥の掻き出し、屋内外の清掃等の活動を、全国から駆け付けたボランティアの方々と協力して行いました。

活動するにあたり、テレビ等の情報により被災地の状況を把握していたつもりでしたが、現地は家屋の倒壊や流木・泥の堆積等があり、想像を遥かに超える状況となっており、私どもが活動した9日間では、復興に係るほんの一助にしかならず、被災地の復興にはまだまだ多くの時間と人手を要すると改めて感じてきました。

また、今回ボランティア活動をした職員からは「利用者を守るための災害対策の強化が



必要」との声もあり、職員一人ひとりが災害に対する意識を再確認することができたようです。

当法人の運営する各施設は、日頃から地域住民の皆様から多大なるご協力を頂きながら施設運営を行っております。

今後、地域の皆様と施設を利用する方々が共に安心で安全な生活を送ることができるよう、災害対策の強化を図るとともに、積極的にボランティア活動に取り組んでいきたいと思っております。



強度行動障害を示す利用者支援への取り組み



当法人では、平成27年度より強度行動障害を示す利用者支援の取り組みを強力に推進するため、各施設の支援スタッフを中心としたワーキンググループによる「強度行動障害を示す利用者支援の手引き」の作成や先進地視察研修等を実施してきました。

また、具体的な事例を通しての対応方法を習得すべく、鳥取大学井上雅彦先生による研修の実施や、秋田大学鈴木徹彦先生を支援アドバイザーに迎えてのスキルアップを踏まえた支援体制の整備に取組んできました。

この取組みも3年目となり、積み上げてきた経験と支援技術を活かし、有効かつ適切な支援が提供できる体制が整ってきています。今後はさらに充実した支援を目指すべく環境の構造化と人材育成への取組み強化を図っていきます。



平成28年度 決算・事業報告

平成二十八年年度 事業報告概況

(一) 県有施設等の経営

平成二十八年度から、高清水園、阿桜園が秋田県より譲渡され、自主経営を開始しました。また、心身障害者コロニー、身体障害者更生訓練センターなど四施設は、県からの無償貸借を継続、老人福祉総合エリアなど五施設は第三期指定管理者として適正な運営に努めました。

(二) 自主設置施設の開設

由利本荘地域生活支援センターが平成二十八年四月に開設し、生活介護、放課後等デイサービスなど在宅支援の拠点となる事業を実施しました。

(三) 社会福祉法人改革への取組

社会福祉法人改革を踏まえ、議決機関としての評議員会を設けるなどの定款変更と関係規則等の見直しを行いました。また、会計監査人候補者を公募のうえ選任し、予備調査等を実施するなど財務会計チェック体制の強化を図りました。

(四) 地域生活支援の充実

支援学校等に就学する児童を対象に、生活に必要な訓練や、社会との交流促進等の支援を行う放課後等デイサービス事業を新たにやまばと園、高清水園で開始しました。

(五) 障害児入所施設の移行

十八歳以上の障害者が入所している障害児入所施設について、関係機関と協議を行い、次のとおり移行することとなりました。

- ・高清水園より平成二十九年度から障害者支援施設に移行。
- ・阿桜園より平成三十年度から児者併設施設に移行。
- ・やまばと園より平成三十年度から障害者支援施設に移行。

(六) 防災・防犯対策の強化

災害時にもサービス提供を継続できるよう危機管理体制の検討を行うとともに、防犯カメラを増設するなど対策を強化しました。

(七) 公益的な取組の実施

社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人の責務として公益的取組が位置付けられたことから、これまでの取組に加え、社会福祉協議会やNPO法人と連携し、施設が有する専門性の提供に努めました。

(八) 職員採用

専門職（看護師）一名について、一月一日付中途採用福祉職二十三名を平成二十九年四月一日付で採用しました。

(九) 准職員の待遇改善

非正規職員の待遇改善における検討を行い、平成二十九年年度から給料額の引き上げや定期昇給制度の導入を実施しました。

(十) 労働環境の整備

改正労働安全衛生法に基づき、新たに全職員を対象に「心理的な負担の程度を把握するための検査及び面接指導（ストレスチェック）」を実施しました。

貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位：円)

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	1,650,710,217	1,482,938,816	167,771,401	流動負債	351,678,515	342,014,253	9,664,262
固定資産	5,196,090,364	3,493,005,236	1,703,085,128	固定負債	622,885,921	667,490,765	△ 44,604,844
				負債の部合計	974,564,436	1,009,505,018	△ 34,940,582
				純資産の部			
基本財産	2,176,716,301	70,924,951	2,105,791,350	基本金	10,000,000	10,000,000	0
				元入金			
				国庫補助金等特別積立金	1,724,897,338	72,154,947	1,652,742,391
				その他の積立金	2,177,447,938	1,973,594,700	203,853,238
その他の固定資産	3,019,374,063	3,422,080,285	△ 402,706,222	次期繰越活動収支差額	1,959,890,869	1,910,689,387	49,201,482
				(内当期活動収支差額)	(258,118,420)	(561,714,816)	△ 303,596,396
資産の部合計	6,846,800,581	4,975,944,052	1,870,856,529	純資産の部合計	5,872,236,145	3,966,439,034	1,905,797,111
				負債及び純資産の部合計	6,846,800,581	4,975,944,052	1,870,856,529

資金収支計算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日 (単位：円)

勘定科目	決算
事業活動による収支	
事業活動収入計	4,516,339,700
事業活動支出計	4,150,849,447
事業活動資金収支差額	365,490,253
施設整備等による収支	
施設整備等収入計	1,971,000
施設整備等支出計	38,433,047
施設整備等資金収支差額	△36,462,047
その他の活動による収支	
その他の活動収入計	182,133,208
その他の活動支出計	346,512,014
その他の活動資金収支差額	△164,378,806
予備費支出	
当期資金収支差額合計	164,649,400
前期末支払資金残高	1,243,953,505
当期末支払資金残高	1,408,602,905

事業活動収支計算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日 (単位：円)

勘定科目	決算
サービス活動増減の部	
サービス活動収益計	4,496,717,979
サービス活動費用計	4,159,308,601
サービス活動増減差額	337,409,378
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益計	19,780,716
サービス活動外費用計	479,445
サービス活動外増減差額	19,301,271
経常収支差額	356,710,649
特別増減の部	
特別収益計	1,628,037,708
特別費用計	1,726,629,937
特別増減差額	△98,592,229
税引前当期活動増減差額	258,118,420
法人税、住民税及び事業税	5,063,700
法人税等調整額	
当期活動増減差額	253,054,720
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額	1,910,689,387
当期末繰越活動増減差額	2,163,744,107
基本金取崩額	
その他の積立金取崩額	90,673,758
その他の積立金積立額	294,526,996
次期繰越活動増減差額	1,959,890,869

事業報告・決算の詳細については、当法人ホームページの「事業報告・決算」ボタンからアクセスしていただくとご覧になることができます。

平成29年度 新規採用職員紹介

新規採用職員のみなさんに聞きました！
事業団職員としての今後の抱負

				
<p>ひとりひとりの仕事を丁寧におこないます。利用者さんのお話をしっかりと聞いていく事で、信頼してもらえる職員になります。</p> <p>高清水園 主事 津谷 広輝</p>	<p>利用者の方々と日々関わりながら色々な事を学んでいます。迷うこともありますが、よりよい支援ができるよう精進していきたいです。</p> <p>高清水園 主事 関谷 優美</p>	<p>利用者の方、家族の方のニーズに沿った支援をしていきたい。また、利用者の方々の生活が充実するよう心掛けたい。</p> <p>高清水園 主事 加賀谷 大輔</p>	<p>四月より軽費老人ホームに勤務しています。利用者さんとの関わりを大切に、より良い支援ができるよう頑張りたいと思います。</p> <p>高清水園 主事 長谷川 彩子</p>	<p>利用者さんの笑顔にいつも癒されます。健康で充実した毎日を過ごしていただけるよう努めていきたいと思えます。</p> <p>南部老人福祉総合エリア 軽費老人ホーム 技師(看護師) 松井 友江</p>
				
<p>利用者さんとの関わりを通し、その人らしく生きる為に私には何ができるかを考えさせられました。より良い支援と専門的知識の向上を目指し、仕事に邁進していく所存です。</p> <p>高清水園 主事 富樫 紘</p>	<p>諸先輩方に支えられながらではありますが、利用者皆さんの安心して生活でき、楽しみや生きがいを感じられるよう支援して参りたいと思えます。</p> <p>高清水園 主事 工藤 大悟</p>	<p>利用者さん一人一人の言葉に耳を傾け、より良い支援ができるよう、また笑顔あふれる察になるよう努めていきたいと思えます。</p> <p>高清水園 主事 後藤 幸子</p>	<p>四月より、高清水園支援課いぶき寮に勤務しています。至らないことが沢山ありますが、諸先輩方から丁寧なご指導を頂き、日々の業務に励んでいます。感謝の気持ちを忘れず、私も頼られる職員になれるよう頑張ります。</p> <p>高清水園 主事 小玉 篤史</p>	<p>多くの事を吸収し、常に多面的に考え・サービス提供ができる職員になるべく精進しますのでよろしくお願致します。</p> <p>高清水園 主事 高橋 諒</p>
				
<p>利用者の方々に信頼される支援員を目指して日々努力していきたいです。まだまだ不慣れな部分も多くありますが、これからも笑顔を大切に支援していきたいと思えます。</p> <p>高清水園 主事 伊藤 愛</p>	<p>研修などから学んだことを活かして利用者さんが充実した生活を送ることができるよう日常生活に励んでいきたいと思えます。</p> <p>高清水園 主事 湯瀬 未希</p>	<p>事業団職員として、これから多くのことを学び、多くの介護技術、知識を身につけて利用者の方々の生活がより充実したものになるよう努めていきたいです。</p> <p>高清水園 主事 熊谷 楓</p>	<p>利用者の方々が自分らしい生活を安心して送れるよう、日々寄り添いながら精一杯支援していきたいと思えます。</p> <p>高清水園 主事 三ツ倉 真紀</p>	<p>半年が経ち、少しずつですが関係を築くことができ嬉しく思います。今後も利用者さんが安心して暮らせるような支援に努めたいと思えます。</p> <p>高清水園 主事 伊藤 里紗</p>

						
四月より阿桜園に配属されました佐々木亮太です。一人一人の個性に触れながら、園での生活を楽しくするよう、支援に努めたいと思います。	四月から採用となりました高橋紅吏と申します。皆様の心に寄り添った支援者を目指しております。よろしくお願ひ致します。	阿桜園に配属となりました井筒和久です。事業団のモットーにあるように、利用者さんが安心して豊かな生活を送れるよう尽力していきます。	これまで高清水園でお世話になっていました。一日も早くお役に立てるよう頑張りますので、ご指導の程よろしくお願ひいたします。	利用者様に安全、安心な食事の提供はもちろん、食べた笑顔になるような献立作成ができるように日々精進していきたいと思ひます。	日々、先輩方や利用者さんから多くのことを学ばせてもらっています。今後は、利用者さんのよりよい生活のための支援ができるような職員になりたいと思ひています。	
主事 佐々木 亮太 支援課	主事 高橋 紅吏 支援課	主事 井筒 和久 支援課	主事 高橋 秀樹 管理支援課	主事 伊藤 香子 管理課	主事 住吉 理咲 白光支援課	
						
入職し、半年が経ちましたが、毎日勉強の日々で、先輩職員方に支えていただきながら業務に励んでおります。これからも、利用者様が充実した毎日を過ごせるよう努めて参ります。		やまばと園で勤務し、半年が過ぎました。まだ慣れないこともあり日々勉強ではありますが、利用者さんと笑顔で向き合えることが増えたことを実感し嬉しく思います。今後も利用者さんが笑顔で過ごせるような努力を重ねていこうと思ひます。	やまばと園の利用者さんの若さとパワーに負けそうになる日もありますが、一日一日を精一杯頑張つて行きたいと思ひます。	事業団職員として、勤務して五か月になります。戸惑うことも多いですが、利用者の方々へ最善の支援ができるよう努力して参りたいと思ひます。	やまばと園	阿桜園
主事 正木 みどり 支援課		主事 松下 奈津子 支援課	主事 佐藤 裕幸 支援課	主事 赤川 裕樹 支援課		

平成29年度実践発表会の詳細

- 1.日時～12月12日（火）午前9時30分
- 2.場所～秋田拠点センターAL☆VE
秋田市民交流プラザ2階
多目的ホール

3.お申し込み・お問い合わせ先～
秋田県社会福祉事業団 事業推進課
電話：018-889-8363
※詳細は、当法人ホームページでも公開しておりますのでご覧ください。

平成29年度実践発表会の開催について

平成27年度から取組んでいる実践発表会は、今年度で3回目となります。毎年ご好評いただいている基調講演には、今年度、野澤和弘氏（株式会社毎日新聞社 論説委員）をお招きし、障がいを持つ子の親としての体験談等を講演していただく予定です。どなたでも無料で聴講可能ですので、皆様お誘い合わせの上お越しください。



地域における公益的な取組

事務局が行う「地域における公益的な取組」として、生活困窮者向けのフードバンク事業や無償学習室等に取組んでいるNPO法人「秋田たすけあいネットワークあゆむ」への人的支援、活動の手伝いを実施しています。月1回（緊急的な依頼があれば随時）の活動で、主に食料支援先への配達や食品回収ボックスからの回収等について担っています。他法人との連携協働を模索する中で、今年3月から始めた取組ですが、継続しながら取組の幅を広げ、より地域に貢献できる活動に発展させたいと思っています。フードバンク事業を推進するため秋田県中央地区老人福祉総合エリアに「フードドライブ」（食品回収ボックス）を設置し、提供された食品をNPO法人「秋田たすけあいネットワークあゆむ」を通して必要とする方々に届けています。沢山の食品を届けたいと思っています。

【フードドライブ】写真



○中央エリア内に設置しております。皆様ご協力お願いします!!



ますので、ご協力をお願いいたします。
※フードバンク事業とは、企業や個人などからまだ十分に食べられるにも関わらず、様々な理由で破棄される食品を提供頂き、必要としている生活困窮世帯や福祉施設などに届ける活動です。

表彰

○秋田県知事表彰（社会福祉功労）

秋田県南部老人福祉総合エリア

総括技能技師 遠藤 勉

主任技能技師 今川 順子

秋田県心身障害者コロニー

課長補佐 櫻田 仁志

阿桜園

課長 柴田 省吾

主査 阿部 正春

やまばと園

課長補佐 鈴木 理絵子

身体障害者更生訓練センター

主査 石川 司

○平成二十九年 全国社会福祉事業団協議会 永年勤続者表彰

○平成二十九年 秋田県社会福祉協議会 会長表彰（社会福祉功労）

事務局

主査 鎌田 周

秋田県中央地区老人福祉総合エリア

主査 宮田 巨樹

秋田県南部老人福祉総合エリア

センター長補佐 土田 礼子

高清水園

課長補佐 壽松木 郁

主査 相庭 雪絵

秋田県心身障害者コロニー

課長補佐 福田 誠一郎

主査 石黒 康優

主査 柴田 康子

主査 武石 美代子

主査 宮田 宏志

主査 安田 純一

主査 渡辺 淳一

主査 加藤 真由美

主査 藤原 真由美

主査 細井 まどか

由利本荘地域生活支援センター

水林事業所長 渡辺 聖子

主査 越後谷 一徳

主査 藤原 雅典

阿桜園

課長補佐 伊藤 真

主査 遠藤 泰秀

主査 木内 美智子

主査 長井 美智子

やまばと園

主任 小松 央子

秋田県身体障害者更生訓練センター

課長補佐 工藤 摂子

主査 池内 健一

主査 岩田 陽子

主査 梶原 勇人

受章おめでとうございます。